

あなたのママでー。

近年、核家族や共働き世帯の増加など、子育てを取り巻く環境が大きく変化しています。本市に寄せられる子育ての悩みも十人十色。今回は、多様化した環境の中で、自分らしい子育てをする方法について考えます。



子育てを取り巻く環境の変化

子育てを取り巻く環境は、時代の流れとともに、大きく変化しています。昔と違い、おじいちゃん、おばあちゃん世代と離れて暮らす人や、子育てをしながら働く共働き世帯が増えていきます。

今はインターネットなどで、簡単にたくさんの情報を手に入れることができますが、一人一人違う、個性豊かな子どもたちに対する親の悩みはさまざまです。

ストレスの優先は…

結婚や仕事などで市内に転入してきた人や、普段あまり近所付き合いがない人などは、身近に頼れる人がいない場合があります。

どうしたらいいかわからないまま「親だからしっかりしないと」「子どもにいらしたら親として失格だ」と、無理にいい親を演じようと考え、ストレスを抱えたまま過ごしている人も多いのではないのでしょうか。

精神的に追い込まれた状態が続くことで、一番大切な子どもにもストレスが向いてしまっている可能性があります。い、虐待につながったり、親自身がうつになったりしてしまう可能性があります。

市で、地域で、みんなで取り組む子育てのかたち

現在、本市では18歳未満の子ども1万1107人が生活し、日々成長しています。その子どもたちと同じ数だけ子育ての悩みがあります。悩みをみんなで共有し、あなたらしい子育てのかたちを探そう。

その答えのヒントになるよう、市で、地域で、みんなで、取り組んでいる子育てのかたちを紹介します。

市内の核家族世帯が増加

市内の核家族世帯数は、2005年の1万220件から15年には1808世帯増え、1万2028件と大きく増加。おじいちゃん、おばあちゃん世代と離れて子育てをしている人が増えています。

年間の相談件数は4千件超

人口は減少しているものの、核家族世帯数の増加とともに、児童相談所や保健福祉事務所、市の窓口寄せられている子どもの養育や虐待などに関する相談は、05年の2198件から15年には4022件と2倍近く増加。

年々増え続けている相談は「育児のことを身近な人に相談できない」「子どもとの接し方が分からず、戸惑っている」「子育てが不安でつらい」「子どもに手を上げてしまいそう」など、さまざまな内容が寄せられています。

